



# 大井第一小学校

同窓会 会報15号

発行責任者 大野 正恒

2013年4月

**第6回同窓生の集い** 鹿嶋神社祭礼の日 10月20日(日) 11時～15時

懐かしい「大井第一小学校」に集まろう 会合・集合場所としてもご利用ください。



2003年(平成15年)校舎



1961年(昭和36年)校舎

## 同窓会活動内容報告

昭和39年組卒  
同窓会会長 大野 正恒

全国的にみて、大井第一小学校の同窓会は会員数・歴史において誇れる組織と想っています。これからの発展のため、改めて会員のご理解を得たく当会活動内容を報告させていただきます。今後とも協力と参加をお願いします。

### 1、会報の発行・配布

(年1回 4月上旬発行)

卒業生・旧教職員の皆様からの投稿記事を中心に懐かしい写真を加え、わかり易い構成に向けて努力しています。製作には編集委員7名で約4ヶ月かかっています。特に今年から写真が見易いようにカラー化しました。

### 2、「同窓生の集い」の開催

(毎年鹿嶋神社大祭の日

10月第3日曜日 11時～15時)

会員の皆様の交流の場として母校の多目的室を借用しています。

(昨年で5回目) 母校関連の資料や写真展示と菓子・飲み物を用意しています。開催時間内は自由に入ることができますので、クラス会等の打ち合わせ・待ち合わせ・雑談にご利用ください。

### 3、「大いまつり」への参加

(毎年2月末頃)

P.T.Aの催しで、当会は在校生とけん玉・ベーゴマ・囲碁・将棋等の「昔遊び」で絆を作っています。

### 4、母校行事への参加

入学式・運動会・卒業式等に参列して挨拶および援助を行っています。

### 5、総会の開催 (隔年の5月頃)

同窓会の事業計画の審議と承認、収支決算報告と承認、役員改選等を行います。

今年開催年度になっています。多数の皆様参加をお願いします。

### 6、理事会の開催 (年4回)

当会の活動方針・議決事項は理事会で決定し実行しています。現在15名で運営していますが、若い世代が少ないのが現状です。幅広い意見や提言をして頂きたく、意欲のある方の参加を募集しています。



2012年 第5回 同窓生の集い

## 小林喜人先生を悼む

第22代校長 大野 福三郎

平成24年10月12日、先生が急逝された。連絡を受けたが信じられませんでした。

4月にふらつと会（菊づくりの会）、6月に大一顧問会（歴代校長・PTA役員）でお元気な先生にお会いしていたからです。

名は人となりを表わすといわれます。正に、良い人でした。先生のお父様が小学校に入る前に亡くなられ、お母様が苦勞して育てられたそうです。命名の由来はお聞きしていませんが、多分、人を喜ばせる人になれよう、ご両親の願いがあったのでしよう。

菊づくりしかり、心障児教育、教会聖歌隊、ボーイスカウト活動等々、そして40年の学校教育活動すべてが、人を喜ばせることに徹していた喜人先生だったと思うのです。

さて、先生の歩んだ教職40年は、終戦の昭和20年から始まり、日本の復興期を経てバブル景気期、そしてバブルの影が見え始めた昭和61年に終わった。その間喜びがあり、苦しみもあり、希望と絶望の連続であった教育人生といっても過言ではないとエッセイに述べられている。

平成13年、喜人先生より表題「鯉職」という43ページの小冊子が届いた。「君達は地下茎となり、日本の復興のため頑張ってほしい」と師範学校（今の学芸大学）の卒業時の校

長のことばを、教育四十余年の教育現場での信条として地下茎の如く力強く努力した先生だった。

第一章「いり豆」では、教師としての第一歩を踏み出した当時、食糧不足でお弁当をもって来ない子どもと校庭の一部を掘り起し、サツマイモや豆を植えて食糧不足を補った話。第二章は「二部授業と森の教室オアシス」では、教室が足りず同一の教室を2クラスで使用したり学校の近くの森の大自然の中で授業し、心の通った人間教育ができたこと。

第三章信州の子どもたちとの交流：第八章「鯉職」では、ある父子家庭に育った子どもやお父さんとの苦闘のやりとり、そして学校の屋上に大きな真鯉と緋鯉を上げてほしいと贈呈していった父親の話。どの章を読んでも先生の教育愛に満ちた姿があった。

先生から「菊づくり」は切り離すことはできない。今年も大井第一の玄関には、色とりどりの菊が多くの人々を迎えた。平成24年12月2日恒例の「ふらつと会」反省会が開かれた。懸崖や大輪小輪の前でパチパチ写真をとる大輪の小林先生がおられないのがとても淋しい。しかし、それぞれの菊には小林先生のDNAが流れているに違いない。「ふらつと会」の大輪は、警察署・交番・消防署・保育園などにも飾られ、大井の秋を彩っている。

菊づくりは子育てと同じだと小林先生は言われる。小さな苗から花が

咲くまでさまざまにな手入れをし、手抜きしたら答えははっきりする。沢山肥料をやればよいというものでもない。最適の愛情が必要と。



先生が大井第一小校長として赴任した当時「地域に根ざした教育の推進」の必要が叫ばれ、昭和60・61年品川の研究指定校として、その成果を全都に発表し好評を得た。先生が教職についた頃、大規模な教育改革が行われ、次々と新しい指導要領が作成された。新しい教科「社会科」が新設された。先生も区を中心として、積極的に社会科の推進をはかられた。いわば現在の社会科の先駆的役割を果たしたともいえる。その原点となる地域に根ざした教育の推進は正に先生の集大成といえる「大井わが町」の記念誌を発行し、副読本として活用されている。

何はともあれ、地下茎の如く、そして人に喜ばれる教育を貫かれた先生であった。ご冥福をお祈りして拙文をおく。



## さあ、元気で走ろう

昭和13年月組卒 仁木 勇夫

当会報に前回登場した時には「歩く事」を主題にしましたので、今回は「走る事」についてのお話にしたいと思います。

それはなんとと言っても低学年の時の運動会です。秋の澄み切った青空に万国旗がはためき、真っ白な足袋はだしをはいて少しひんやりする朝の空気を肌を感じながら運動場に立つと、何時の間にか自分もいっぱしの選手になったような気持ちになったものです。プログラムも進みそろそろ出番というところになると裏庭に整列。やがて何やらマーチ音楽が聞こえてきて入場門から会場に入る頃には胸の高まりは最高潮。ヨードンで走り出せば後は無我夢中。走り終えて3等迄に入ると、旗を持った高学年のお姉さんがやってきて入賞者の列に並ばせてくれました。やがて午前の部が終わって母の待つ父兄席に行く時には、入賞の胸のリボンを誇らしく見せびらかせたものです。80年近く経った現在でも覚えているのは、2年生の時に2等になってとっても悔しかったことです。1等は西野君でした。今度逢ったらリベンジをしたいのだけれど何処にいるのだろうか。江戸の仇を長崎で。この小学校時代に「走る」事に若干興味を抱いたお陰でしょうか、中学では皆が苦手とする2000mも好成绩で体力章は中級に合格。又、

最終校では、夜中の0時に神宮橋を出発して多摩御陵迄の全校夜間マラソンでも上位に入りました。

それから70年余り経過した先年、昔取った杵柄とばかりに小学校高学年の孫と競争をしました。だいぶハングドをつけたのに爺の大敗でした。残念。

何れにしても足を使うこと・身体を動かすことは絶対に必要なことです。幸いなことに、神様は私にこれらに耐えられるような体力と気力を授けてくださいました。本当にありがたいことです。

さあ、アラフアイブでは遅すぎる。アラフォーが最終便です。乗り遅れないように、あの楽しかった運動会を思い出して元気に走り出しましょう。

### 海外で活躍している人

昭和30年竹組卒 渡邊 美雄

今もアフリカのタンザニアで活躍している旧友がいます。その人は昭和30年卒業の倉辻忠俊さんです。今年70歳を迎えますが、日本から遠く離れたタンザニアで毎日子供達の病気の治療に力を注いでいます。

彼は小児科のお医者さんになり、これまでネパールやプアニューギニアなど、海外のいろいろな国で働いてきました。現在は「日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)」という団体から、タンザニアのタボラ州に派遣されています。タボラでは、

水道や電気が行き届いておらず、厳しい生活環境です。日本と違って、病院、お医者さん、看護師さん、薬がとても不足しており、簡単な病気でもすぐに亡くなってしまいう子供がたくさんいます。タンザニアで生まれた赤ちゃんの10%以上が、5歳まで生き延びることができません。

そんな中で、倉辻さんは子供達の病気(貧血、栄養不良、マラリア、エイズ、 Dengue熱などの感染症)の治療に一生懸命取り組んでいます。又、倉辻さんが日本に帰ってきた後も、現地の人々が自分達の力で子供達の健康を守るようになることを目指して、タンザニアのお医者さん・看護師さんを指導したり、病院の運営についてアドバイスしたりしています。

### 小学校生活の思い出

昭和35年竹組卒 田坂 素男

昨年暮れ、64歳で定年退職し、45年入社後、初めて無職となり一日中家にいることの多い年金生活を経験しています。30歳の時に静岡県沼津市の工場へ転勤になり富士山近くの裾野市に住んでいます。

運動不足解消のため、毎朝5時半起きで約一時間の散歩を始めました。途中で富士山を仰ぐコースで日ごとに変わる富士山の姿を楽しみながら5キロの減量に成功しました。散歩、読書、薔薇作りが主な日課ですが、機会があれば社会復帰をと

考えています。

小学校生活を振り返ると、友達、先生に恵まれ、気ままに楽しく過ごした気がします。ベビーブームの生まれで小学校は7クラス、中学校は14クラス、高校は11クラスで、多人数の賑やかな中で競争に追われ育ちました。恥ずかしがりな為、最初は友達ができず女の子に苛められたのも、懐かしい思い出です。小学校に入る前から、年上の遊び仲間と野球をしたり、取っ組み合いをしたりしていたので、周りに慣れけると遊びの方では頭角を現し始めたものでした。

学校が終わると鹿嶋神社の空き地で野球をする毎日でした。草野球の仲間に入った見知らぬおじさんからプロ野球選手になれると褒められ有頂天になったこと、野球途中で神社の柿をとって食べていたら神社の管理人に怒られ、翌日の全校朝礼でも立たされて先生よりお叱りを受けたことが思い出されます。

6年間を通じて楽しかったのは、やはり、遠足、運動会でした。学校より戴いたアルバムを捲ると遠足の行き先は、多摩川台公園、新宿御苑、神宮外苑、大倉山公園、野毛山公園、井の頭公園、山口貯水池、東京めぐり、観音崎、相模湖、鎌倉、東京タワーであることが判りました。1年生の写真には母親と一緒に写っていて、車酔いで苦しんでも母に作ってもらった海苔巻きを食べると元気が出た記憶が蘇りました。

### 団塊老人一年生

昭和35年竹組卒 横山 康

私は昭和29年入学、35年に卒業しました。今年で満65歳になります。統計的にも世間一般にいう「高齢者」です。最近では敬老パスやら介護保険証の交付やら年齢を実感させられるものばかりでいやになります。

いわゆる団塊の世代最初の年に生まれました。とにかくやたら同級生の人数が多いです。団塊の世代といわれる昭和22年から24年生まれは、直ぐ前後の年上の世代、年下の世代と比較しても30%も多いようです。そんな中で小学校低学年の時はとにかく教室が足りなかった。いわゆる「二部授業」を経験したのも貴重な思い出です。唯一、楽しみだったのは給食。その時出された粉ミルクだけは苦手でした。毎日どうやって飲もうかと思悩みました。そして高学年になると何と言っても「テレビ」の影響です。子供にとつてまさに魔法の玉手箱のようなものだったと思います。私たちが物心ついた頃には戦後の高度成長時代は始まっており、少しずつ暮らしが良くなっていたという実感の中でテレビの影響は一番だったと思います。最近のネットやスマホの普及と比べても画期的な生活の変化でした。昨今の韓流ドラマではないですがアメリカ西部劇のヒーロー、ロバート・フラー(ラフミー牧場)やクリント・イーストウッド(ローハイド)の顔があ

ざやかに蘇ります。今年5月に日本一高い建物の東京スカイツリーが開業しました。そういえば6年生の時、当時できたばかりの日本一高い東京タワーにクラス仲間と登ったことを懐かしく思い出します。

卒業して半世紀が経ちました。あの頃僕はアホでした。でも最高の日々でした。あの頃がたまたまなく懐かしく思える今日この頃です。



## 同期会・クラス会報告

### 昭和14年卒 同期会

昭和14年竹組卒 津田 照通  
恒例の「昭和14年卒同期会」が、平成24年5月15日(火)午後1時より田町のニュートーキョーで開かれました。

参加者15名。毎年母校の開校記念日に開催しているこの同期会には、今尚元気な大正15年、昭和元年、昭和2年生まれの方々が参加し楽しい昔話に花を咲かせています。私達はあと2年で米寿です。そして母校は開校百四十周年を迎えます。

この年を最後の同期会と考えて居り、平成25年5月15日も田町のニュートーキョーで開催いたしますので、ご参集下さい。

### 昭和21年卒 傘寿会

園城寺 信一

私達の傘寿を祝う会を紅葉で華やく品川のホテルグレースで開催しました。

男性9名、女性7名の参加者は有志から提供された写真、日記、寄せ書き、綴り方などを肴に大いに盛り上がりました。勿論、私達の多くは大なり小なり病魔と闘っています。話された前向きな果敢な生き様に感動し、志気を鼓舞され、二次会後家路につきました。

ところで、私は卒業生ではありません。姉は卒業生、母は大井第一の教諭でしたが、私は5年から父母の郷里に疎開したのです。しかし旧友からの温かい誘いもあり、同期会にはできるだけ参加しています。

大井第一時代の思い出は多々ありますが、昭和17年4月の最初の米軍機の爆撃で、至近弾を被ったものの不発に終わったこと、プールでの遠泳で体力に自信がついたこと、友人のお母上から、御召列車が通過する際屋内にいたら、正座して最敬礼をするようにと教えられたことなどが印象深いものです。

東日本大地震以後、「絆」が強調されています。大井第一の同窓会活動も地域の絆を越えて大きく展開していくことを楽しみにしています。



### 昭和24年卒 同期会

昭和24年梅組卒 松林 二郎

昭和24年(1949年)卒の同期会を昨年11月25日、母校近くの「竹むら」で開催しました。参加者は男女各12名計24名、遠くは岐阜県大垣市から駆けつけてくれました。ありがたいことです。

卒業して六十数年過ぎましたので、話題は先ずはお互いの健康の話でスタート。薬のお世話になつている人が見受けられました。概ね元気でいまだに活躍している人も何人かいて、皆さんから激励の拍手を受けていました。幸いなことに、この二年間一人も欠けることなく、参加者の多くは、スキー・ゴルフ・ダンス・コーラス・絵手紙やカラオケなど趣味が豊富で、これが元気で長生きの良薬になつていようです。

宴会予定の二時間も余興や歓談で、あつという間に過ぎ、再会を約して散会しました。その後カラオケで二次会をやる者、コーヒーを飲みながら改めて歓談する者など思い思いに一日を一杯満喫していました。嬉しいことに、今回ほど沢山のお礼の電話や葉書を頂いたことはありませんでした。幹事の一人として冥利に尽きます。

私達は、今年「喜寿」を迎えます。それを祝って来年の予定を前倒しして11月に横浜で同期会を開催することにしています。多くの会員から

「楽しみにしている」と言う声を聞く幹事も力が入ります。



### 絆 集まれることの喜び

昭和31年松組卒 須山 駿一郎  
平成24年4月8日(日曜日)一年半ぶりに、昭和31年卒松組のクラス会(松永会)がありましたので、クラス会の近況と共に当日の模様を紹介させていただきます。

卒業して10年位までは、遠足気分です。神代植物公園や大山、三浦海岸などに行ったりしましたが、最近はお心での食事会、プラス有志での散歩という形が多くなってきました。

今回の参加は16名。毎回十数人位でしょうか。でも今回は、タイ在住の落合君(食品加工会社)、加藤君(自動車部品会社起業)の二人がタイの正月休みを利用して、そろって来てくれました。また富山からは、整体師になった佐原君が久しぶりに参加と盛り上がりました。

場所は、銀座松屋の向かいの「大増」。ランチタイムの利用で費用は安く済んだようです。またお店の好意でしょうか3時間位、ゆっくり話すことができました。

徳永先生は、相変わらずお元気ですが、やはりお歳なりに色々痛むところも出てきたとか。そう、私たちももう直ぐ70歳、出てくる話も、足腰がどうの、血圧がどうのと自分や家族の体を気遣う者が多かったようです。でも誰かしら経験者がいて、経験談や克服談をしてくれる。介護に携わっている人や整体師からは、専門的なアドバイスもあって、まさに勉強会でした。

みんなの生活や環境も色々。退職後も関連の会社で活躍している人、商売に精を出している人、介護や福祉を通じて地域貢献している人。いまだに学問に励む人、はたまた無職の私。さまざまな環境にいる70歳達が、こうして集まれるのはありがたいことですし、そして楽しい気持ちにさせてくれます。そして小学校の同窓会は、色々な分野に進んだ人が集まるので話が新鮮で面白いですね。東日本大震災後の最初のクラス会でしたが、16名でも、とにかく元気で集まれたのは何よりでした。

私事ですが、家内が岩手県山田町の出身で、兄弟も周辺に住んでいます。皆、津波の直撃は避けられ無事でしたが、2ヵ月後の5月に見舞いに行ってきました。山田町に入る最後の峠を越えてびっくり。建物がな

いんです。瓦礫と横倒しの車だけ。市街部は津波の後の火災で完全に焼失してしまいました。灰だけでした。あまりのひどさに立ち尽くすのみでした。

そして今年9月、やっと行われた秋祭りを、初めて見に行きました。町は、残ったコンクリートの土台と仮設の店だけ。遠くまで見渡せませ。駅があった場所に行ってみました。舗装の中央に土が円形に現れていて、ここが駅前ロータリーだったことを思い出させてくれました。悲しかったです。でも、若者を含め多くの人々が祭りに合わせて帰省していました。ちよつと頼もしさも感じました。

津波にされわれた海辺の神社の神輿の分も代表して、山の上の八幡神社の神輿が街中を回って、夜、社に戻って来ます。最後に30数段の急な石段を登らなくてはなりません。屈強な男達でもなかなか登れませぬ。すると周りから一斉に「がんばれー、がんばれー」の声が。母親も子供も、若人も。この声は大変感動的でした。私も思わずほろりとしてしまいました。祭りの中に確かな絆を見つけた気がしました。

クラス会の話に戻します。10年たつてそれぞれの道を歩み色々な環境にいる人達が、悩みを打ち明け、助け舟を出し、損得無しに話し合えるのは小学5・6年と言う多感な時期を勉強だけでなく遊びも一生懸命になつて過ごした繋がりが大きいのだと思います。ここにも一つの「絆」

を感じました。

「次回はタイでやりましょう」という声も冗談には聞こえない程の一体感を感じました。

最後にひとこと、ヒマラヤ杉の下での水遊び、ダム作り、楽しかったな。

### 再会ー五十二年ぶり

昭和33年月組卒 堀澤 末治

「敬礼！」「〇〇上等兵！恥ずかしながらただ今戻りました！」ちがうちがうー我々は戦後っ子、現代っ子一号。1958年に卒業して以来、なんと53年目にしてクラスメートが発見され、連絡がとれたのです。青葉城下、広瀬川の辺にいたことが確認されました。当会員とのインターネットによるメールでの出会い、そして、毎年11月に行われる定例「ダルマ会」(S33年6月クラス会名)に仙台の地から出席しました。会つてびっくり！なーんてことはない、

同じ年、それなりの顔、髪は乱れるほど無く、体形は軽々しくなく、なーんだ俺達とおなじだ！って感じ。友も同感じゃないかな？お互い様だね。53年前は、ムッスな坊ちゃんイメージだったけど、思っていたよりカジユアルなおしゃれ親父。当会員として理想の新会員誕生です。年一回のクラス会、6年月組にタイムスリップしての「心身のぞつくばらん」で、「ダルマ会」らしい、子ダルマの騒がしい6時間余りでした。

### クラス会開催

昭和35年竹組卒 小澤 佳寿明 吉田 利江

シブヤ楽器横を入った「とき寿司」にて開催、20人が集まりました。お互いの近況報告から始まり、今年定年にて退職を迎えた男子に話が集中しました。

二次会は側のスナック「アラジン」にはほ全員が移動して松崎先生も、ご一緒です。

年金と体調の話から、雰囲気にもなれて、個々に歌など始まりました。「緑のそよ風」をカラオケで見つけ全員で合唱、校歌へと盛り上がり、楽しいひと時をすごしました。

\*\*\*\*\*

### 平成24年度の教職員の移動

転出

主任教諭 吉沢 公子 (品川区立山中小学校へ)

主任教諭 篠田 幸恵 (品川区立鮫浜小学校へ)

教諭 安藤 洋子 (世田谷区立山崎小学校へ)

教諭 浅沼美奈子 (世田谷区立桜小学校へ)

教諭 梶原 英伸 (港区立芝小学校へ)

教諭 渡邊 洋 (世田谷区立砧南小学校へ)

教諭 平野ゆりか (大田区立羽田小学校へ)

## 母校(大井第一小学校)の現状

同窓生の皆様に母校の現状を知って頂くために、大島久幸校長と辻松康晴副校長へのインタビューを行いました。同窓生記者の私見も交え報告いたします。

### 1. 在校生の状況(平成24年度)

在籍児童数785名(内146名区域外)

\*1学年4学級(35人学級)分の教室しかありません。

学校選択制で区域外からの入学希望者も多いのですが、区域内優先で定員の残りを「抽選」で受け入れている状況です。品川区内でも1学年4学級もある小学校は珍しく、今でも松組・竹組・梅組・月組の名称もそのまま、有名小学校の伝統は受け継がれています。

### 2. 卒業生の進路(平成23年度)

伊藤学園	65名
私立	58名
他	12名
計135名	

\*伊藤学園は旧伊藤中学校で現在は小中一貫校になっています。

約半数は地元区立の伊藤学園へ進みますが、私立にも約半数が進学し受験校の特色が出ています。

### 3. 学校教育状況

指導方針「品格」「確かな学力」「健康な心と体」

・あいさつの励行として、高学年が登校時正門の前で、登校する児童に声かけを行っています。優秀な児童には「あいさつ名人」バッジが付けられます。

・全国統一学力テストの結果は全学年、全国平均を上回っています。

・全国平均の20%UPが目標です。

・体力は残念ながら、全国平均を下回っています。

・「書く力」を鍛えるために、道具を使って鉛筆の持ち方指導を強化しています。

・英語の授業は週1回行っています。

・「市民科」という授業が週3回ほどあります。品川区独自の授業で、「道徳」を発展した内容になっています。

### 4. 母校の悩み

校舎の老朽化が進んでいます。耐震については補強済ですが建て直すには建築新基準(公道・緑化等)の関係で難しいとのこと。せめて校庭を人口芝にしたい。

### 5. 同窓会への期待

周年行事への協力が挙げられました。2年後の140周年に向けて、準備委員会が発足する予定です。同窓会としても積極的に参画していきます。(会報委員会 大野・平林・井上)



## 理事紹介

会長 大野 正恒(昭和39年卒)

昨年定年退職をして、品川区内の介護施設に再就職しました。地域との絆を作りたいと思っています。

副会長 森 秀雄(昭和34年卒)

三ツ又商店街で写真店を経営しています。

同窓会の役割の一つとして第一小が刻んできた歴史を写真と資料で掘り起こし保存していくことを心に言い聞かせています。

副会長 平林 幹夫(昭和35年卒)

定年退職後、品川区いきいき事業の後援により、平成21年9月に品川区高齢者福祉団体として品川たんけん隊の登録を行いました。代表として(大井町、昭和から今、にて検索)ホームページを立ち上げて、大井町の昔話を中心に地域の方々に憩いの集いと、町歩きを開催しています。

副会長 井上 幸子(昭和42年卒)

父・叔父・私・妹と私の3人の子ども達が同窓生です。近い将来には孫も入学予定です。子ども達も成人したので、同窓会の他にも学校や地域のボランティア活動をしています。

会 計 安田 央(昭和32年卒)

平成18年から当会の会計兼名簿係を務めています。鹿嶋神社秋季大祭の宮本大神輿渡御にもかかわっています。

会 計 宇田川龍一(昭和39年卒)

生まれも育ちも大井5丁目です。第一小には開校以来4世代お世話になりました。

生まれも育ちも大井5丁目です。第一小には開校以来4世代お世話になりました。

りました。1・2年武井先生、3・4年植竹先生、5・6年立元先生にお世話になりました。後輩のために何かお役に立てればと思っています。

書記 榎原 恵(昭和39年卒)

大野会長と同級生です。退職後、資格試験などサラリーマン時代でできなかったことに挑戦しています。理事となったのもその一環です。

理事 藤川 敏(昭和25年卒)

大一、伊藤中学校、都立小台高校と地元で育ち、今も鹿嶋神社の側で小児科を中心に開業しています。

理事 住友 光男(昭和35年卒)

団塊世代です。生まれ育ち共に大井町。大井第一と大井町の発展に役に立てればと思っています。

理事 猪飼 英介(昭和56年卒)

大井5丁目で葬儀社を営んでいます。地元の祭り等、お手伝いさせてもらっています。

監事 大山 義広(昭和42年卒)

大井第一小学校を、父も・私も・私の子供達の三世代とも卒業し、地元で密着して暮らしております。

監事 小林 昌信(昭和46年卒)

郵政省、郵便事業庁、日本郵政公社、郵便局株式会社、日本郵便株式会社と郵便局一筋30年余り。現在は品川大井七郵便局勤務です。

他に、堀切孝悦理事(昭和41年卒)、

岩城英規理事(昭和48年卒)、西村

晃太郎理事(昭和51年卒)がおり、

現在15名で活動しております。

また、津田照通顧問をはじめとする外部協力者も6名おります。

### ホームカミングデー改め

## 「同窓生の集い」報告

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

天候に恵まれた平成24年10月21日(日) 11時～15時、母校の多目的室において開催されました。

今年には新たに、「懐かしい教職員の写真」の展示をいたしました。平成23年度までの内、今回は間に合わなかった年度もありましたが、徐々に埋めていく方向でいます。

「ホームカミングデー」から数えて今年で5回目になりますが、年に一度のこの日を楽しみにして、関西から毎年お見えになる同窓生の方もいます。

或いは、クラス会・同期会の集合や打ち合わせの場所として、集まる方々もいます。

勿論、皆さん、貴重な写真の展示を懐かしそうにご覧になられたり、同窓生の有志を中心にした、ハワイアンバンドの演奏や歌も楽しまれています。

「同窓生の集い」と謳ってありますが、来場自由ですので、在校生やその保護者、教職員、近隣の方々と様々な方が来場されてとても賑やかです。

是非、次回はあなたのお越しをお待ちしております。

(「同窓生の集い」実行委員会)

### 振替用紙の通信欄より

○夏目漱石氏の孫の松岡陽子さんと1年から6年まで一緒に楽しみました。残念ながら今年アメリカで亡くなりました。大井第一は名門校だったと誇りをもっています。特に園工は林部伝先生のすばらしい多目的な教えは今も大層役に立っています。子供時代の教育は人生を豊かにします。(S11年雪組卒 磯邊 澄子)

○私が当地(鶴沼)で通うサークル「文章教室」に、偶然、S16年梅組卒の保坂三奈子様が入られ、懐かしい母校の話等しております。(S12年月組卒 秋山 ひろ)

○卒業して74年、86歳となりました。(S13年月組卒 榎本 勉)

○いつもお世話になります。会報をたいへん楽しみにしています。(S15年梅組卒 田中 和子)

○S15年卒・月組は、一昨年クラス会を中止しましたが、5月になると思い出し、やはりやろうと復活：今年は23日に4人集まり楽しい時間を送っています。(S15年月組卒 代田 益穂)

○昭和19年卒です。6年間一枚も写真がないのが残念。戦中の記録は焼けてしまったでしょうね。(旧姓伊藤)

(S19年月組卒 水澤 和子)

○昭和17年卒竹組、中川様 私の友人のお兄様と伺いびつくりしました。水戸でのご縁があるのでただただびつくり致しました。(S20年女組卒 田中 悦子)

○昭和21年卒業時大井第一を離れ、半年前から横浜に疎開しました。卒業生とも云えないものに、同窓会報をお送り下さり、申し訳なく1口の会費を振り込ませて頂きます。(S21年女組 相沢 晴美)

○この季節、会報を楽しみにしているのです。隅から隅まで、投稿者の名前を見ては同級生のお兄様や弟さんだと思いつながり読んでおります。有難うございます。(S28年竹組卒 佐藤 純子)

○数年前の鹿嶋神社祭礼の日、久々に大井に帰り、(旧)ホームカミングデーに立ち寄りました。航空写真に古い実家を見つげ感激!! 桐の花、ヒマラヤ杉、木造校舎……ああ大井第一小学校。(S41年月組卒 坂下 総枝)

○在校時に経験した、一〇〇周年記念式典、その時の菊の思い出、あけぼの幼稚園出身なので妙に輝く「大谷」の名字。たくさんのことを懐かしく思い出すごうございました。(S52年竹組卒 金田 琴恵)

### 2011年度 収支決算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日現在 単位:円)

項目	金額	項目	金額
(収入の部)		広報費(事)	140,013
会費収入	1,373,000	会議費(事)	6,362
入金収入	87,600	旅費(事)	0
記念誌等販売収入	0	通信運搬費(事)	660,252
寄付金収入	0	事業費	40,000
雑収入	773	事業費計	1,267,465
①当期収入計	1,461,373	[管理費]	
前期繰越収支額	4,433,950	会議費(管)	6,400
②収入計	5,895,323	旅費(管)	0
(支出の部)		通信運搬費(管)	8,910
[事業費]		事務用品代	7,296
総会開催費	4,000	振替手数料	85,130
秋季大会費	50,000	管理費	0
会報出版費	353,136	管理費計	107,736
調査費	0	③当期支出計	1,375,201
名簿管理費	13,702	当期収支差額(①～③)	86,172
		次期繰越収支差額(②～③)	4,520,122

### 第9回総会のお知らせ

日時 平成25年5月18日(土) 14時  
場所 大井第一小学校

- 1、事業報告及び収支決算の承認
- 2、事業計画及び収支予算の承認
- 3、役員改選の承認
- 4、その他、本会の運営上、特に重要な事項

同封の振込用紙内の通信欄にて、出席のお返事をお待ちしています。

### 会費納入のお願い

同窓会事業を継続していくには、会報等の印刷代、通信費、事務費、母校に関わる慶弔費等の諸費用がかかります。平成23年の会費納入者は約八〇〇名で約七二〇〇名に会費第14号を送ることができました。これからも安定した同窓会活動を続けていくために、会費納入に皆様のご理解とご賛同を心よりお願い申し上げます。

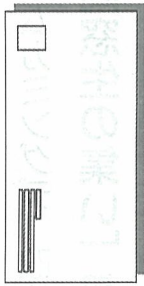
一〇 1000円

同封の振込用紙をご利用頂き、5月末までにお振り込み下さい。

(ATMでの振込にご協力下さい)

### 寄稿のお礼と投稿のお願い

皆様のご協力で、会報第15号を発行することができました。又、寄稿して下さいました皆様、ありがとうございます。今回紙面の都合上、訂正したり割愛した箇所がありましたことをお詫び申し上げます。「文字」に残しておきたい思い出等、随時投稿をお待ちしています。10月30日までに、郵便、FAX、Eメールで、事務局宛にお送り下さい。



### 名簿の資料提供にご協力を

(新住所・改姓名をお知らせ下さい)

会報を通じ、より大きく同窓の輪が広がることを願い、正確で充実した資料作りを目指しています。毎年、相当数の宛先不明の会報が戻ってきます。

名簿委員会では、会報をお送りするために、「個人情報保護法」に則り、同窓会員の皆様の自宅住所・電話番号の個人データを厳重に管理し、保持しています。

転勤、転居、結婚等により変更となる場合には、事務局までお知らせ下さい。(ホームページから可)

### 同窓会の運営にご協力を!!

同窓会では母校を支援しつつ、同窓生の親睦を図るべく活動をしております。

その運営に理事として参加して頂ける方のご推薦をお願い申し上げます。

特に、企画やパソコンを得意とされる意欲ある方(老若男女問わず)の参加を歓迎いたします。

### お詫びと訂正

会報第14号1頁、「プール完成」の写実は昭和30年9月は誤りで、正しくは昭和32年9月でした。ここに、お詫びするとともに訂正いたします。

### 物故者

平成24年

原 美代子 先生 (8月逝去)

(昭和24年~37年)

小林 喜人 元校長 (10月逝去)

(昭和49年~53年・58年~61年)

石渡 欣久 先生 (12月逝去)

(昭和31年~39年)

浅野 真 元同窓会会長

(平成8年~13年)

謹んでご冥福をお祈りいたします。



### 編集後記

本号からカラー化してリニューアルをいたしました。楽しんでいただけたでしょうか?

編集委員も原稿を打ち込んだりして頑張っています。初めてのことで、皆様のご意見ご感想をお寄せ下さい。

### 編集委員

- |        |       |
|--------|-------|
| 昭和14年卒 | 津田 照通 |
| 昭和30年卒 | 木村 親光 |
| 昭和34年卒 | 森 秀雄  |
| 昭和35年卒 | 平林 幹夫 |
| 昭和39年卒 | 榊原 幸子 |
| 昭和42年卒 | 井上 幸子 |
| 昭和51年卒 | 西村晃太郎 |

### 同窓会事務局

同窓会ホームページをご覧ください。  
URL <http://oildoso.net>

- |               |   |
|---------------|---|
| 大野 正恒         | 〒140-0014 東京都品川区大井 5-22-4   |
| TEL・FAX       | 03-3772-5527  |
| E-mail        | wpjny726@yahoo.co.jp  |
| 森 秀雄          | 〒140-0014 東京都品川区大井 1-53-9   |
| TEL           | 03-3773-0506  |
| E-mail        | hide@mori-shoukai.co.jp   |
| 平林 幹夫         | 〒140-0014 東京都品川区大井 3-22-5   |
| TEL・FAX       | 03-3772-9031  |
| E-mail        | sp3353d9@grace.ocn.ne.jp  |
| 井上 幸子 (旧姓 山崎) | 〒140-0014 東京都品川区大井 7-8-13   |
| TEL・FAX       | 03-3775-6596  |
| E-mail        | yama_sachiko_i_0209@festa.ocn.ne.jp                                       |
| .....         | .....   |
| 〒140-0014     | 東京都品川区大井 6-1-32   |
|               | 品川区立大井第一小学校   |
| TEL           | 03-3771-5240  |
|               | <a href="http://wwwl.cts.ne.jp/~oichi/">http://wwwl.cts.ne.jp/~oichi/</a> |